

繪ハガキ競技會記事 (第二十四回)

斜 (意匠)

朝 (技術)

一等	斜陽	榎本 滋	雪の朝	赤城 泰舒
二等	かし家札	森 榮一	野道	和賀井 恂
三等	網干	金江 龜	野邊の朝	野口 六三
四等	雨	後藤 百次	港の朝	中臺 枯星
五等	ビザの塔	高畑 徵平	親船	佐藤 清
六等	袈裟	中尾 春雄	高原の朝	相田 寅彦
七等	球戯	佐藤 奇巖	旭日	後藤 百次
八等	蓮の葉	野口 六三	大沼の朝	小嶋虎太郎
九等	三筋の絲	山田 全一	朝の林	瀧嶋 寛水
十等	磔	河鰭 達夫	うがひ道具	兩角 團次
十一等	瀧車道	中尾 正幹	晩春の朝	大橋 三平
十二等	水車の堰	小林 珠郎	朝景色	飯田 紫山
十三等	影斜なり	赤壁 徳彦	朝の海	久保 周一
十四等	彌次郎兵衛	瀧嶋 寛水	大河の朝	加藤没趣味
十五等	虹	丹羽光次郎	海の朝	中尾 正幹
十六等	火山	小島虎太郎	川沿道	鈴木 登
十七等	花の雨	相田 寅彦	朝の田面	松原 久安
十八等	机上の鏡	飯田 紫山	野の朝	小林誠之助
十九等	尺八	和賀井 恂	水邊の朝	村上 丸太
二十等	石段	兩角 團次	湖畔の朝	飯野芳太郎

(以下略)

五月二十七日開會出品者四十八人總數百七十九枚選評の結果上記の如し

意匠の一等は奇抜なる圖案といひ難けれど色調よく二等の貸家札は多くの同案のうち群を抜けり三等網の斜なるは面白く四等有ふれたる意匠なりしも描法老練なりし其他鐵道の着車信號を描けるもの多かりし次に技術の一等は雪の翌日晴れたる朝の寒き感じも充分見え一本高き杉の梢に朝日の強く照せる心地よき畫なり二等霧の道も佳作三等四等またよく趣を得たり九等は技術に於て最も優れたるものなりしも肝心の朝といふ趣を缺けるは惜むべし

七月課題

螢(意匠)

涼風(技術)

七月二十日×切 七月二十二日開會

▲七月は日本橋區本石町十軒店三番地門井學校内水彩畫講習所で午後二時から開きます出席者は×切日迄に御通知ありたく當日は會費金拾錢御持參の事